

S 標準フロー

※CASBEE評価認証の申請対象は

戸建住宅を除く建築物で、CASBEE建築評価員が自己評価を行ったものに限り

1. お問い合わせ

弊社より「お問合せシート」を送信させていただきます。

まずは、ご連絡下さい。

「お問合せシート」受領後、ヒアリングの為、弊社よりご連絡を差し上げます。

ご対応の程、よろしくお願い致します。

2. 申請受付/手数料

原則持参・対面申請とさせていただきます。※要予約:営業時間 10:00~17:00

下記資料をご用意下さい。

- ① CASBEE評価認証申請書(第一面、第二面:環境設計の配慮事項)
※代理者の場合は委任状が必要となります
- ② 資料の目次
- ③ 対象建物の全体概要を示す資料
- ④ CASBEE評価シート(入出力結果)
- ⑤ 各評価の考え方とその根拠を示す資料
- ⑥ その他

申請受付後、評価認証手数料を請求させていただきますので、指定期日までに指定銀行にお振込みをお願い致します。入金を確認後、審査に入らせて頂きます。

※振込手数料についてはお客様負担とさせていただきます

3. 審査

審査は、予備審査と本審査から成り、原則、各々別の弊社選任評価員が申請案件の認証審査を実施致します。必要に応じ、質疑等のお問い合わせをさせていただきます。ご対応をお願い致します。

※質疑回答は文書でのやり取りを原則とします

4. CASBEE評価認証書の発行等

本審査のご対応を経て、評価認証書を発行致します。

ご提出の申請資料は、副本は申請者に返却し、正本は弊社にて要綱・規程に則り処理させていただきます。

※審査の過程で修正や差し替えが発生した資料や、参考として提出して頂いた資料等については原則、返却させていただきます

5. 評価認証の公表

評価認証書交付後、ご承諾頂いた案件に関しては弊社のホームページにて評価認証を行った旨を公表させていただきます。公表内容は「評価認証番号」、「建物の名称」、「申請者」、「建設地」、「建物用途、規模」、「評価ツール・評価段階」、「竣工(予定)日」、「有効期限」を必須事項とし、その他事項は協議の上決定させていただきます。

S 提出資料(資料の内容について)

① CASBEE評価認証申請書(正本は原本、副本は写しでも可) ※代理者の場合は委任状が必要となります

第二面:環境設計の配慮事項について主な計画・設計上の環境配慮事項を記載して下さい。
評価ソフト内の「環境設計の配慮事項」シートと同じ内容を記載して頂いて構いません。

② 資料の目次

資料の全てに資料番号(ページ等)を記載して下さい。

③ 対象建物の全体概要を示す資料 ※概要を示す程度のもので構いません

設計概要書、案内図、周辺図(既存建物配置、高さ、緑地等が分かるもの)、平面図、立面図、断面図
パース、計画地と周辺が分かるカラーの航空写真(写真内に方位と計画地を書き入れたもの、または
写真内に方位と完成予想図を入れたもの)、その他を提出して下さい。

④ CASBEE評価シート(入出力結果) ※評価ソフトが最新版であることを確認して下さい

メインシート、評価結果表示シート、スコアシート、採点(解説)シート、付録シートを提出して下さい。

⑤ 各評価の考え方とその根拠を示す資料 ※評価マニュアルが最新版であることを確認して下さい

採点シートの評価項目毎に下記の①、②を続けてファイルして下さい。
設計図書など同じものが複数の項目で用いられる場合には、重複してファイルを作成するか
参照ページを明示して下さい。

・⑤-①「評価の考え方を示す資料」 ※全ての評価項目毎

例)「〇〇のため、レベル□とした。」又は、「〇〇のため、評価ポイント1とした。」

・⑤-②「裏づけとなる資料」 ※①に対応する参照資料

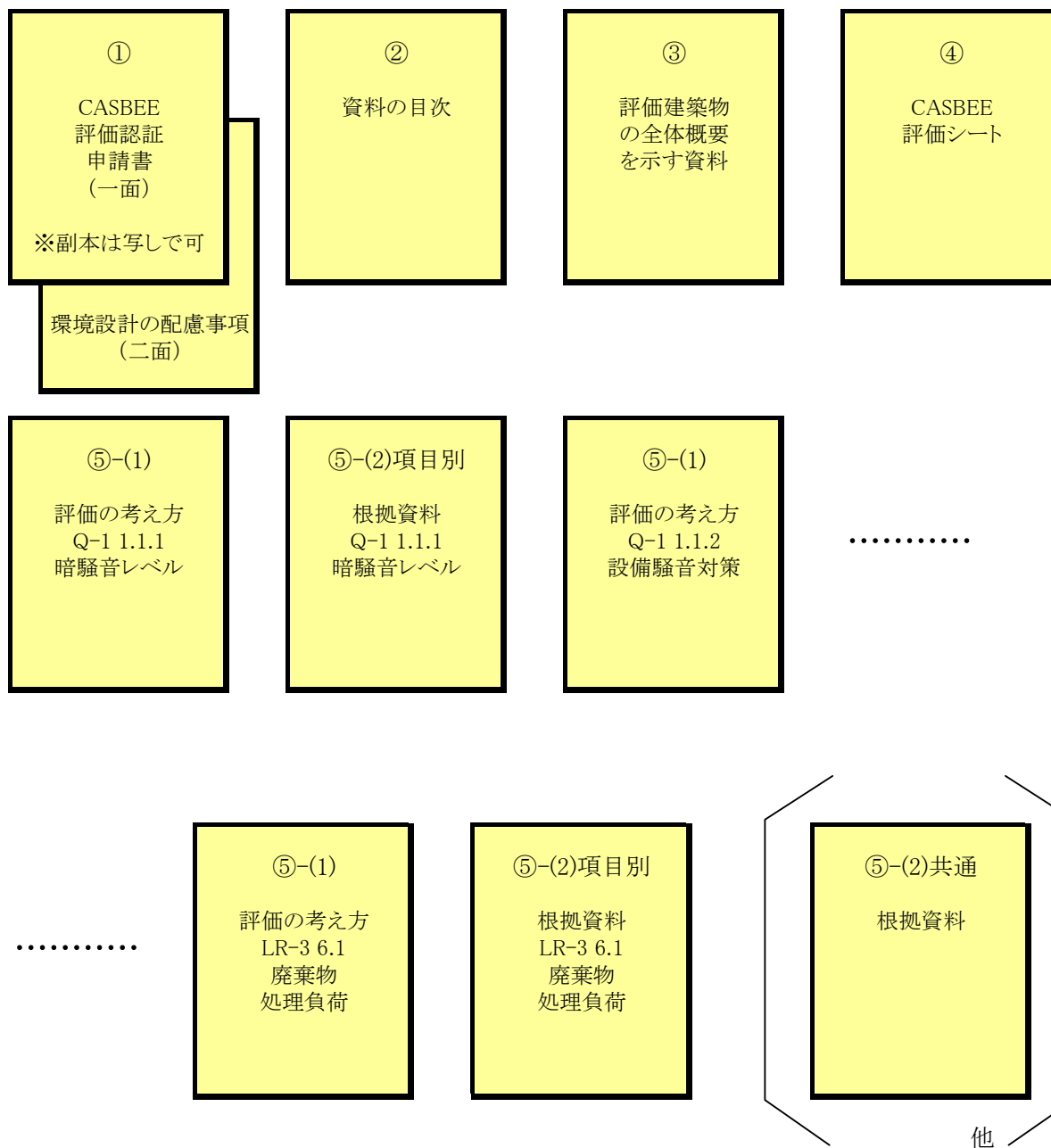
設計段階評価では、原則として、設計図書に明記され採用されることが確定しているもののみ
評価対象となります。そのことを示す資料がない場合には、最低のレベルとなります。
評価が最低レベルのものなど不要な場合もありますが、原則、全ての評価項目について
添付して下さい。図面等では、印を付ける等の方法で、図面中の参照すべき部分を明示して下さい。

- 例)・設計図書:各評価項目に関する図面、仕様書(平面図、立面図、断面図
パース、仕上表、部材一覧(リサイクル材等明記)、設備機器等一覧等)
・省エネルギー計画書、性能評価書
・近隣状況が分かる資料
・エネルギー消費実績資料(「CASBEE-既存」評価では必須)
・室内環境、地域環境実測・調査資料

⑥ その他

必要に応じて関係資料を提出して下さい。

S 提出資料(ファイル構成と必要部数について)



※A4ファイル(背表紙付き、A3版用紙等は折り込んで下さい)

.....正本1部(申請書捺印)・副本1部(申請書写しでも可)

※CASBEE評価シートの電子データ(Excel データ)

.....CD1枚(e-mail でも可)

【⑤-(1)「評価の考え方を示す資料」の例】

Q-2 サービス性能
 1 機能性
 1.2 心理性・快適性
 1.2.1 広さ感・景観

評価ソフトの「採点シート」
 (該当項目の評価結果が入力してあるもの)
 をコピーする

重み係数(既定) = 0.33

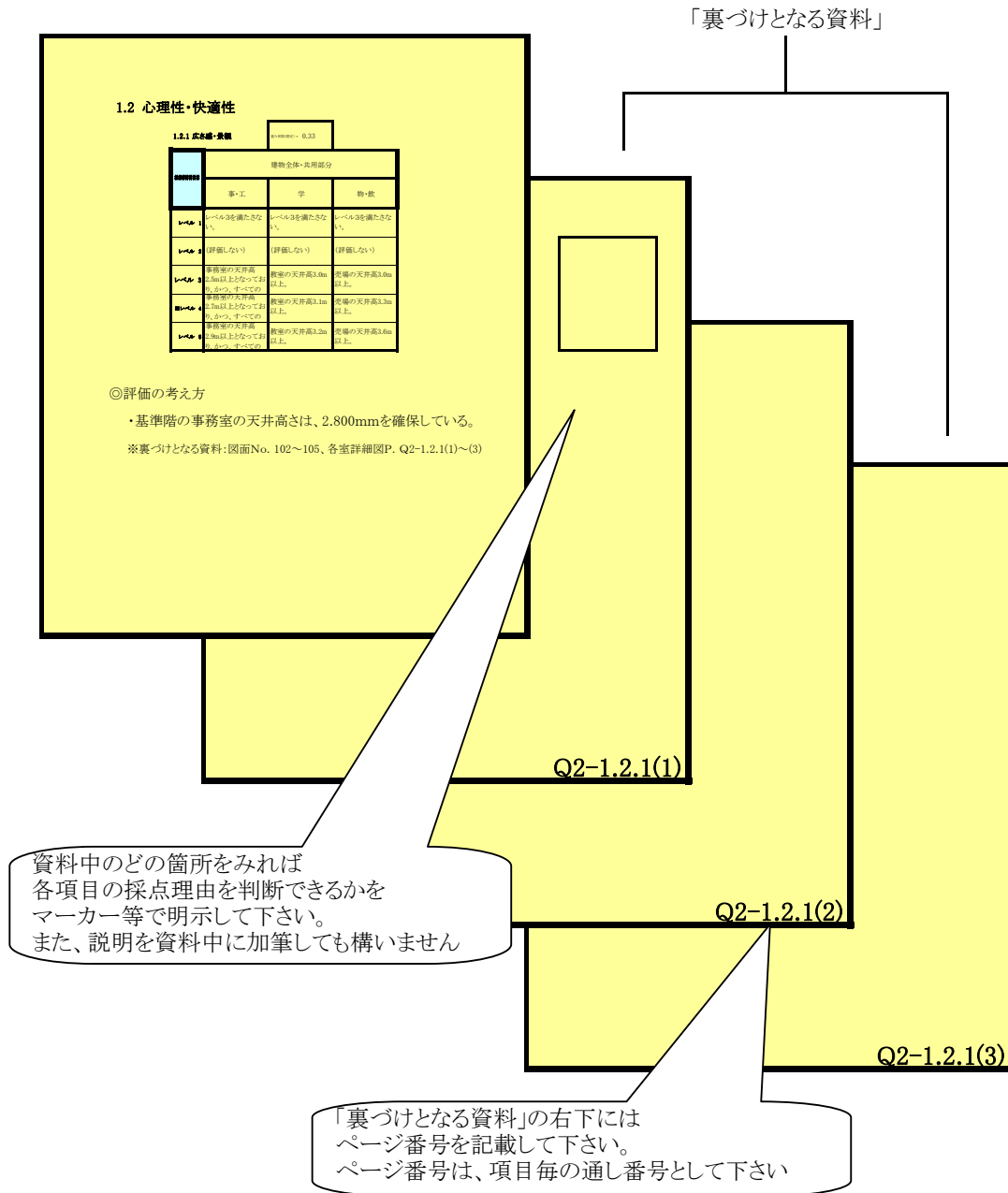
レベル4.0	建物全体・共用部分		
	事・工	学	物・飲
レベル 1	レベル3を満たさない。	レベル3を満たさない。	レベル3を満たさない。
レベル 2	(評価しない)	(評価しない)	(評価しない)
レベル 3	事務室の天井高2.5m以上となっており、かつ、すべての執務者が十分な屋外の情報を得られるように窓が設置されている。	教室の天井高3.0m以上。	売場の天井高3.0m以上。
■レベル 4	事務室の天井高2.7m以上となっており、かつ、すべての執務者が十分な屋外の情報を得られるように窓が設置されている。	教室の天井高3.1m以上。	売場の天井高3.3m以上。
レベル 5	事務室の天井高2.9m以上となっており、かつ、すべての執務者が十分な屋外の情報を得られるように窓が設置されている。	教室の天井高3.2m以上。	売場の天井高3.6m以上。

◎評価の考え方

- ・基準階の事務室の天井高さは、2,800mmを確保している。
- ※裏づけとなる資料: 図面No. 102~105、各室詳細図P. Q2-1.2.1(1)~(3)

「評価の考え方」に、評価の理由を具体的に記載する。
 また、「裏づけとなる資料」として、それが確認できる添付資料の
 資料名・番号等を記載する。
 次ページに続けて、「裏づけとなる資料」(⑤-(2)に該当)をファイルする

【⑤-(2),「裏づけとなる資料」の構成について】



※各資料には、図の様にページ番号を記載するとともに、資料中のどの部分が採点根拠となっているのが判断できるように、マーカー等で加筆して下さい。

※審査過程で根拠資料の追加や差し替えを行う場合には、その資料にも同様にページ番号を記載し、どの資料の差し替えか、どの部分に資料を追加するのが明確に判断できるようにして下さい。